



地域医療連携室だより

Vol.174

発行元 地方独立行政法人
市立大津市民病院
地域医療連携支援センター 地域医療連携室
住所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
電話 077-526-8192
FAX 077-522-0192 発行日:2023年11月1日

市立大津市民病院 検索

だより内に が 5ヶ所登場しています。ぜひ探してみてください。疫病退散。

糖尿病内科のご案内

2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズム

みねおか ゆうすけ
内科 医長: 峠岡 佑典



糖尿病の薬物治療は新薬が相次いで開発されたことで充実してきておりますが、たくさん種類がある為に薬剤選択の判断に苦慮することもあるかと思えます。日本糖尿病学会では2022年に「2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズム」を作成しております(坊内良太郎ら. 糖尿病 65(8):419~434, 2022)。糖尿病の病態に応じて治療薬を選択することを最重要視し、エビデンスと我が国における処方実態を勘案した4段階 Step のアルゴリズムになっています。日本糖尿病学会ホームページでも公開されていますので参考にさせていただきますと幸いです。処方に迷われる際にはいつでも当院糖尿病内科にご紹介ください。

糖尿病の予防、治療、啓発の重要性は世界の共通認識であり、毎年11月14日は「世界糖尿病デー」として知られています。いかなる状況でも糖尿病治療の継続は必要であり、多職種によるサポートはますます重要性を増しております。当院では2013年から糖尿病チーム「Team Compass」が院内外で活動しています。世界糖尿病デーに合わせて例年行っていました市立大津市民病院大学公開講座「糖尿病110番」はコロナ禍もあり実施が難しい状況が続いております。そこで2022年には糖尿病の予防や治療に役立つよう糖尿病チームで糖尿病に関する冊子を作成し、糖尿病デーに合わせて配布致しました。2023年も新しい冊子を作成し、お届けする予定にしておりますのでご活用頂けたら幸いです。糖尿病デーの間中は院内施設のブルーライトアップを実施しております。テーマカラーであるブルーは国連と空を表し、団結を表す「輪」を使用したブルーサークルがシンボルマークとして採用されています。



薬物療法開始後は、およそ3か月ごとに治療法の再評価と修正を検討する

目標HbA1cを達成できなかった場合は、病態や合併症に沿った食事療法、運動療法、生活習慣改善を促すと同時に、Step1に立ち返り、薬剤の追加等を検討する

2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズム

坊内良太郎ら. 糖尿病 65(8):419~434, 2022より改変



新規採用医師のご挨拶

2023年10月、新規採用医師を本人のコメントとともにご紹介させていただきます。

皆様、どうぞよろしくお願い致します。

脳神経外科 医員:

うづら やすのり
卯津羅 泰徳



本年10月より京都府立医科大学から赴任しました、
脳神経外科の卯津羅 泰徳と申します。

脳神経外科領域、特に脳卒中診療については、地域の
皆様方との連携が重要となりますので、皆様としっかりと
連携を取りながら、日々精進し、大津市の地域医療
に貢献していきたいと思っております。

これからどうぞよろしくお願い致します。

一般・乳腺・消化器外科

ひらた あおこ
医員: 平田 碧子



10月から乳腺外科に赴任しました平田碧子と
申します。

丁寧な診療を心がけて精進して参ります。

今後ともよろしくお願い致します。

内科:

おぐら けいし
小倉 圭史



今年10月より血液内科でお世話になっておりま
す、小倉圭史と申します。

血液内科のみならず、幅広く内科疾患を診られる
よう日々精進して参りますので、今後ともよろしくお願い
致します。

呼吸器内科:

ふるむろ たいせい
古室 太誠



10月から洛和会音羽病院より赴任いたしました。呼
吸器内科 古室 太誠と申します。

呼吸器内科として日々精進し、患者様のお役に立
てるように頑張りますので、何卒よろしくお願いいたし
ます。

整形外科:

まつもと あつむ
松本 侑



はじめまして。10月より京都府立医大より赴任と
なりました整形外科の松本侑と申します。

滋賀県での勤務は初めてで、まだまだわからないこと、
できないこともたくさんありますが、大津市の
医療に貢献したいと思っておりますので何卒よろ
しくお願い致します。

整形外科:

まつもと げんいちろう
松本 源一郎



整形外科の松本源一郎です。

2次救急での整形外科加療を積極的に行いたいと
思いますので、紹介待っています。

手術加療が必要そうであればなお嬉しいです。

趣味は洗車ですが始めたばかりですので、詳しい方
話しかけていただければうれしいです。

今後とも何卒よろしくお願い致します。

「地域医療連携の会」を 開催いたしました



■日程:令和5年10月12日(木) 18:00~20:30

■内容:第一部 講演会 放射線科診療部長 市場文功 「腹部救急疾患の画像診断～単純CTの見どころ～」
大津市医師会副会長 大森聖一先生 「訪問診療の問題点と今後の課題」

第二部 情報交換会 各診療科の紹介

大津市医師会会長の重永博先生をはじめ、開業医の先生方や近隣の病院関係者の方々のご出席をいただきました。情報交換会では、各診療部長が診療科のアピールやスタッフ紹介と、会場内で直接ご出席の先生方と意見交換を行い、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

私たちは、今後も「信頼の絆でつながる、市民とともに歩む健康・医療拠点」という当院の病院理念を実現させるべく、地域の医療機関の皆様との連携を、さらに強化していきたいと考えております。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



市立大津市民病院大学 健康講座を開催いたしました

第5回 健康寿命を延ばそう！今日から始めるフレイル予防の食事

～その情報、本当に信じて大丈夫？～

■日 時:令和5年10月17日(火)14:00~15:00

■場 所:市立大津市民病院 9階大会議室

■講 師:管理栄養士 山本 順子

■今回の講座では、42名の参加がありました。

講座ではフレイルを予防のために、低栄養に注意すること、適度な節塩と人工甘味料の摂取量にも注意するようクイズ形式でわかりやすく説明がありました。

アンケートからも、「フレイル予防の食事について勉強になった」「ゼロカロリーにリスクがあるということに驚いた」など意見をたくさんいただきました。



「滋賀県緩和ケア研修会」を開催いたしました

この研修会は国のがん対策推進基本計画で、治療の初期段階からの緩和ケアが重点課題に挙げられたことを受けて、各都道府県で実施されている研修会です。今年度は院外からも7名の参加がありました。

今回、参加者は医師や公認心理師、歯科衛生士の計20名で、そのうち9名は当院の2年目研修医で、これからの医療を担う医師の学びの場にもなっています。

研修担当者から、参加者が「自分の課題を知ったこと」、そして今後緩和ケアの知識を得ようとする「姿勢を育んだこと」の2点が、この研修の一番の意義だったように思いました。という声が聞かれました。



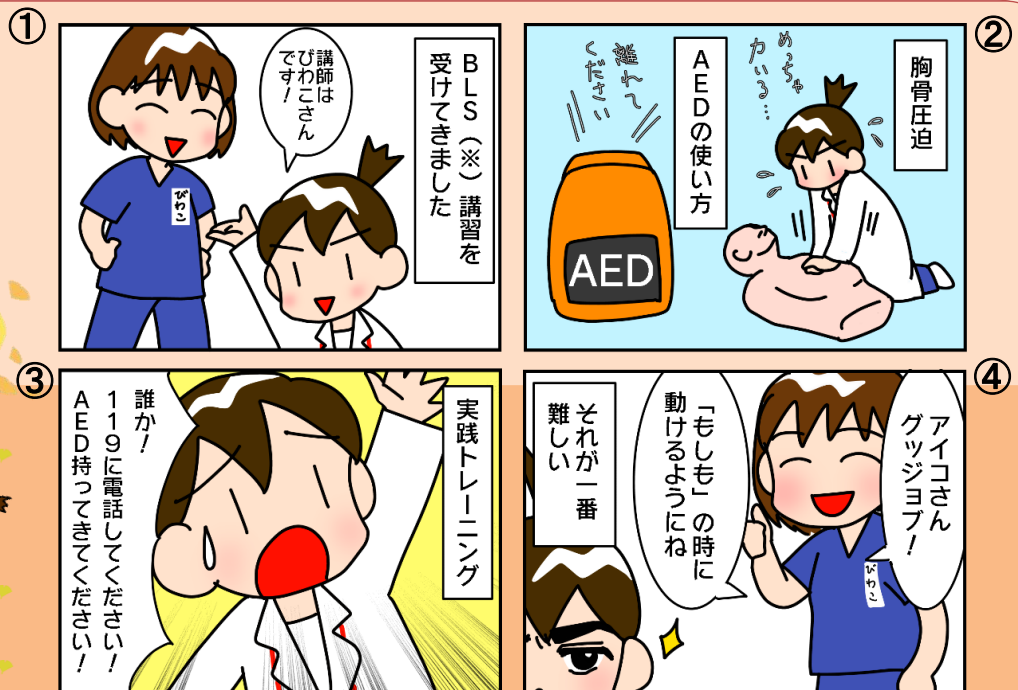
2年目研修医 note

- 出身大学・卒業年度: 福井大学 令和4年度卒業
- 趣味・好きな時間の過ごし方: 甥っ子と遊ぶこと
- 医師を目指した理由: 医師の母に憧れて
- どんな医師になりたいですか?: ささいなことでも相談しやすい医師
- 研修医2年目の目標: 3年目にむけて専攻科以外の疾患も経験していきたい
- 地域の先生方へのメッセージ:
お世話になっております。地域の医療に貢献できるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。



たけうち みか
竹内 美夏

MSW アイコさん



作・画 まきろん

※Basic Life Support (一次救命処置) の略